



「絵本とわらべうたの会」2023年度

市民読書サポーターのいる日程 7月

8月の「絵本とわらべうたの会」はお休みです。

7月 11日(火)の「絵本とわらべうたの会」

7月 22日(土)の「芝川絵本とわらべうたの会」については「みしのたくかにと 260号」かチラシをご覧ください。

市立中央 図書館 (10:00~ 12:00)	1日(土)	8日(土)
	15日(土)	22日(土)
	29日(土)	
西公民館	11日(火)	10:30~11:30

夏休みにおすすめの紹介

小学校低学年から



ペニーさん

エッツ 作・絵  
松岡享子 訳  
徳間書店

貧しい独り者のペニーさんは、馬のリンピーや牝牛のムーラーなど、たくさんの動物たちと幸せに暮らしていた。ペニーさんは動物たちのめんどうをよくみてやっていたが、動物たちはみな怠け者で、そのうえおとなりさんの畑の作物まで食い荒らしてしまう。怒ったおとなりさんは損害賠償を要求し、ペニーさんは困り果てる。そんなペニーさんを救おうと動物たちがやったことは……。

モノクロの絵で動物たちを表情豊かに見せている。絵本の形をとっているが、自分で読むなら高学年から。



みしのたくかにと

松岡享子 作  
大社玲子 絵  
こぐま社

ふとつちよおばさんがみつけた黒い小さな種。何の種だがわからないまま庭に撒き、「あさがおかもしれない／すいかかもしれない／とにかくたのしみ」という立て札を立てた。ところが、この国の王子はその立て札を反対から読んでしまった。ある日、王子は夕食に皿いっぱいのにんじんが出たことに腹を立て、「いなれしもかおがさあ／いなれしもかかいす／みしのたくかにと」なら食べるといふ。何のことも分からない大臣は、国中におふれを出してさがさせる。ふとつちよおばさんの撒いた種からは、大きな実がいくつもなった……。

楽しい幸せな結末に子どもはとても満足する。自分で読むなら小学校低学年から。挿絵も楽しい。

小学校中学年から



ヘンリーくん と アバラー

クリアー 作  
松岡享子 訳  
学習研究社

ヘンリーはお父さんにサケ釣りに連れて行ってもらいたかったが、お父さんは「アバラーが人に迷惑をかけないよう、面倒をみられたら連れていく」という。9月の釣りまで、アバラーに悪いことをさせないでおくのは難しい。心配したとおり、アバラーは清掃員に飛びかかったり、ラモーナが持っていたアイスを食べてしまったり…。何とかアバラーをおとなしくさせようとするヘンリーの奮闘ぶりが楽しい。

「がんばれヘンリーくん」シリーズの第2作目。

小学校高学年から



ギリシア神話

石井桃子 編・訳  
富山妙子 画  
のら書店

ギリシア神話は、今から何千年も昔に古代ギリシアに住んでいた人たちが語り伝えた物語で、世界の神話の中でもっともすぐれて美しく、おもしろいとされている。朝になると太陽が昇ることも、季節が移り変わることも、嵐がやってきて洪水が起こることも、何もかもがただ不思議でしかなかった時代に、その不思議を解き明かすためにお話は生まれた。「プロメテウスの火」「パンドラ」「ミダス王」など、オリュンポス山にすむゼウスをはじめとする神々の物語 24編と、ホメロスの叙事詩からの「トロイア戦争」ほか1編を収録。

平明で格調ある再話で、挿絵もよい。導入の解説や巻末索引も役に立つ。

\* 読書と読み聞かせ推進事業のメルマガについては裏面をご覧ください \*